

# 会 報

2002年度

## 1. 春季大会記事

2002年度春季大会は、6月29日(土)に札幌市手稲区民センター・視聴覚室において開催され、以下の日程により研究発表、シンポジウム、および総会が催された(参加者37名)。なお、シンポジウムは「札幌地理サークル」と共催により行われた。

### ●研究発表(10:00~12:00)

上口大輔(北海道大学大学院文学研究科・院):企業本社の立地と金融依存に関する考察

梅田克樹(北海道大学大学院文学研究科):福岡県における多頭育酪農の発展とその要因

栗山丈弘(文化女子大学室蘭短期大学):行政区域と地理学的地域との関係について -北海道支庁区域を基に-

寺田 稔(北海道学術大学法学部):北海道における農業集落の現状と特性

### ●シンポジウム(13:00~16:20)

テーマ:「高校地理教科書を考える」

オーガナイザー:氷見山幸夫(北海道教育大旭川校)、橋本雄一(北海道大大学院文学研究科地域システム科学講座)、高平順夫(藤女子高校)

オーガナイザーの挨拶・主旨説明:橋本雄一  
報告と討論:

金森正郎(札幌東高等学校):教室の現実の中の『地図帳』  
-北部檜山での実践から-

佐久間直樹(札幌西高等学校):高校教科書地理Bにおける情報通信分野・GISの取り扱いについて

谷川尚哉(中央学院大学):地理教科書の検定の特異性

高平順夫(藤女子高等学校):身近な地域調査

-神戸を例に-

前半(教育現場の立場)のまとめ:高平順夫

橋本雄一(北海道大学大学院文学研究科):高校教科書における地域と経済の問題

大内 定(北海道教育大学札幌校):「高校地理B」における自然的内容の記載と取り上げ方

氷見山幸夫(北海道教育大学旭川校):高校地理教科書・地図帳における中国農業地域区分の誤りについて

後半(専門分野の立場)のまとめ:氷見山幸夫

なお、午後のシンポジウムについては、今号にシンポジウム報告として掲載されている。

### ●総会(16:25~17:00)

2001年度の事業報告・決算報告、2002年度の事業計画・

予算案が提案、承認された。

事業報告については、春季大会、秋季大会(環境地図教育学会と共催)のほか、懸案の会誌74号、75号(創立五十周年記念号)、76号の発行について未発行であるが、各号、とくに75号(記念号)の編集の目処も立ったことから2002年度中に3冊、まとめて発行することが報告された。事業計画では、今春季大会、また秋季大会は巡検形式で後志方面の地域を検討していること、会誌77号については予算が逼迫しつつある状況の中で、77号と78号と合併して(合冊号)2003年度末に発行する案も示されたが、なお予算状況をみて今後の検討課題とした。

北海道教育大学札幌校地理学研究室に現在置かれている事務局について、事務局員2人(山下、大内)のうち1人(山下)は勤務先において要職にあり実質1人体制であること、2人とも遠くない先に定年退職になることから、幹事会では事務局を複数の事務局員体制が可能な大学への移転を検討してきた結果、2003年4月より北海道大学文学研究科地域システム科学講座に移転することを決定し、2002年度中に移転の準備を進めることが報告された。幹事会体制について、遠藤幹事の転出(長崎県)に伴い、さらに体制を強化するため、北海道大学文学研究科地域システム科学講座の祖田亮次会員、同講座の梅田克樹会員が新たに会長より幹事として委嘱されたことが報告された。

### 2001年度決算報告:

#### ◇通常予算分

##### (収入)

繰越金	115,826
会費収入	444,500
雑収入	6,500
計	566,826

(雑収入:寄付金)

※繰越金については、1999年度予算支出費目の会誌74号が未支出のため、この印刷費500,000円が執行された場合の金額で、会誌No.74印刷費として保存されている。

##### (支出)

会誌No.76印刷費	*442,527
事務費	15,059
通信費	48,090
謝礼	20,000
秋季大会補助	40,000
会議費	1,150

予備費	0
計	566,826
・次年度繰越金	*0

\*印は会誌 No.76については未発行で、予定額とした場合。

#### 2002年度予算案：

◇通常予算分	
(収入)	
繰越金	0
会費収入	450,000
雑収入	178,500
計	628,500
(雑収入見込み：広告料 160,000 会誌売却 8,000 預金利子 500 寄付金 10,000)	
(支出)	
会誌 No.77印刷費	500,000
事務費	10,000
通信費	50,000
謝礼	20,000
秋季大会補助	40,000
会議費	5,000
予備費	3,500
計	628,500

#### ◇記念事業予算途中収支報告

2001年度報告と変わらず、そのままであることが収支表とともに報告された。

記念事業予算現在高 566,667

会誌 No.75(創立五十周年記念号)印刷費として確保する。残が出る場合は、学会通常予算へ繰り入れる。

## 2. 秋季大会記事

2002年度秋季大会は11月9日(土)、巡検形式により以下のテーマとコースで行われた(参加者14名)。

テーマ：「歴史的建造物群と商都の盛衰・小樽市を巡る」  
 コース：JR 南小樽駅集合(10:30)－<徒歩移動>－旧岡崎倉庫(田中酒造亀甲蔵)(10:45)－<タクシー移動>－重要文化財・旧日本郵船株式会社小樽支店(11:30)－<タクシー移動>－小樽運河散策・昼食(12:30)－旧小樽倉庫(小樽市博物館)(13:30)－現地解散(15:00)

案内者：菊地達夫(北海道浅井学園大学短期大学部)、大内定(北海道教育大学札幌校)、佐久間直樹(札幌西高等学校)

なお、巡検の詳細は今号に巡検報告として掲載されている。

## 3. 例会記事

12月12日(木)、北海道大学大学院文学研究科において講演会形式により開催された。

題目：Urban and Rural Development in China(中国における都市と農村の開発)

演者：魯 奇先生(Prof. Lu Qui)(中国科学院地理学自然资源研究所教授)

魯先生は、おりから文部科学省招聘教授として北海道教育大学旭川校に約3ヶ月滞在され、この機に中国における沿岸部と内陸部あるいは東北部の工業の開発、および農村事情について環境問題も含め、英語にて講演いただいた。

## 4. その他

・10月26日(土)・27日(日)に開催された第12回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」(環境地図教育学会主催)における優秀作品に、本会会長より次の2つの作品に北海道地理学会賞が授与された。

「身近な公園の環境調べ」

旭川市立北門中学校2年 樋口敬太

「ワースト3－鶴見川」

筑波大学附属駒場中学校1年 松田淳

・会員消息(会誌76号掲載以降、順不同・敬称略)

入会：祖田亮次(北海道大学大学院文学研究科)、梅田克樹(同左)、朝日克彦(北海道大学大学院地球環境科学研究科・院)、岩野直(北海道大学大学院文学研究科・院)、上口大輔(同左)、経亀論(北海道大学文学部・学部生)、森下祐作(北海道教育大学大学院教育学研究科旭川校・院)

退会：宮田日出夫、小山武夫、木村栄ノ進、内田隆、助野実樹郎

・学会よりのおもな会誌配布先(交換も含む)

日本地理学会、人文地理学会、東北地理学会、福島地理学会、北海道立文書館、北海道立図書館北方資料室、北海道大学図書館北方資料室、北海道教育大学本部図書館、札幌大学図書館、北海道開拓記念館資料室、北海道立地質調査所、古今書院編集部、大明堂編集部、シカゴ大学極東文化研究所資料室、東京都立大学図書館、国立国会図書館、地理教育研究会(筑波大学附属駒場中等学校内)

【訂正】『北海道地理』No.74の30頁に誤りがありました。お詫びいたします。

誤) 寺田稔(北海学園大学共通教育研究センター)

正) 寺田稔(北海学園大学法学部)